

筑波大学大学院 教育学学位プログラム

次世代学校教育創成

サブプログラム

説明会

2020年12月6日（日）

＜オンラインにて参加の皆さまへお願い＞
本日はお忙しいなかご参加くださり、
誠にありがとうございます！

マイクはミュートに、カメラはオフに設定し
てくださいますようお願いいたします。

はじめに...

<お願い・おことわり>

- ・ マイクはミュートに、カメラはオフに設定してください。
- ・ 説明は日本語で行われます。
- ・ 説明会の様子は記録用に録音・録画いたします。公開はいたしません。
- ・ 全体会のスライドは、後日学位プログラムのウェブサイトにて公開予定です。

タイムスケジュール

13:00~13:45 @8B210

全体会



14:00~15:00 @文科系修士棟

領域・分野ごとの説明会

全体会



サブプログラムリーダー挨拶（清水美憲先生）



学生代表挨拶（野村拓也さん）



学位プログラム紹介（特任研究員）



入試概要説明



質疑応答

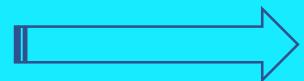


教育学学位プログラム(博士前期課程)

次世代学校教育創成 サブプログラム

*Subprogram in School Education
for the Next Generation*

- グローバル化した社会における複合的な諸問題
- AIやIoTの進化に象徴される知識基盤社会
- 人間の仕事か機械の仕事か
- サイバー空間とフィジカル空間の融合 (Society5.0)



次世代の学校教育とは

次世代の学校教育を構想・実践する—

- 前身の教育研究科（スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻）は、高等師範学校の伝統を引き継ぎ、日本の中等教育の中核拠点として我が国の教育を支えてきました。
- 次世代学校教育創成サブプログラムは、この確かな実績を基礎に、新しい時代の学校教育を構想し、そのあり方を示す研究と教育の拠点として生まれ変わりました。
- 新しい時代に対応できる教員としての資質・能力を身につけることができます。

● グローバル化・ボーダーレス化した社会で生じる新たな教育の課題に対応する能力

● 「Society 5.0 に向けた人材育成」のための教育内容・方法を開発する能力

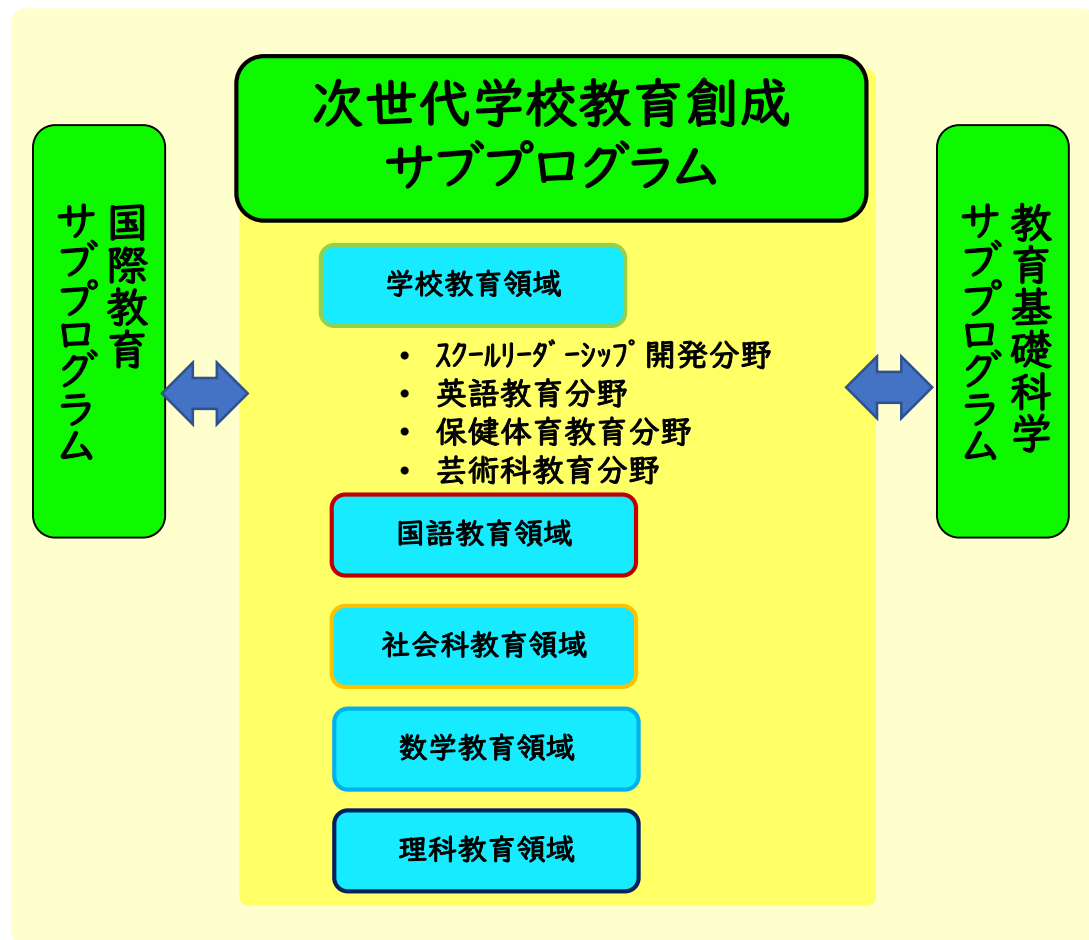
● 海外で高く評価される日本型教育システムを積極的に世界へ発信する能力

次世代の学校教育をリードする 高度専門職業人の育成を目指して

- 「一つ先」の時代の学校教育のあり方、その社会との連関のあり方等について、多面的に、また根源的に考え、次世代の学校教育を創成することのできる人材を養成を目指す教育プログラムです。
- 現代社会におけるさまざまな教育課題に対処する高度な専門性を有し、グローバルな視野と優れた教育実践力とともに、教職への情熱と使命感を持ち、リーダーシップを備えた高度専門職業人、これからの時代における新しい学校教育を創成することのできる人材の育成を目的としています。
- 学校教育の現場に強い研究者、また専門的な研究のできる実践家を育成することを目指します。

研究領域と分野

教育学学位プログラム(博士前期課程)



教育学学位プログラム(博士後期課程)

多彩な授業科目

- 人間系・人文社会系・数理物質系・生命環境系・体育系・芸術系という6つの系に所属する教員が、各研究分野の最先端の動向を踏まえた指導を行います。
- 新分野のSTEAM教育やICT/デジタル環境での学習、カリキュラム・マネジメントなど、次世代の学校に欠かせない教育や経営の実践について研究することができます。

社会人の積極的な受入れ

- 在職のまま大学院の教育を受け、指導的役割を担う能力を培うことができます。
- 入学試験では、「社会人特別選抜」を実施しており、書類審査と小論文・口述試験のみで受験することができます。
- 現職教員を対象とする修了年限が1年間のプログラムも用意しています。

所得できる資格

- 小学校・中学校・高等学校（全教科）や養護教諭・栄養教諭の専修免許状、学校心理士資格等を取得できます。

全体会



サブプログラムリーダー挨拶（清水美憲先生）



学生代表挨拶（野村拓也さん）



学位プログラム紹介（特任研究員）



入試概要説明



質疑応答

全体会



サブプログラムリーダー挨拶（清水美憲先生）



学生代表挨拶（野村拓也さん）



学位プログラム紹介（特任研究員）



入試概要説明



質疑応答

教育学学位プログラム

博士前期課程

博士後期課程

国際教育
サブプログラム

次世代学校教育創成
サブプログラム

教育基礎科学
サブプログラム

学校教育
領域

国語教育
領域

社会科教育
領域

数学教育
領域

理科教育
領域

スクールリーダーシップ
開発分野

英語教育分野

芸術科教育分野

保健体育教育分野

修了要件

- ▶ 本プログラムを修了するには、2年以上在学し、各サブプログラムで定める必要な授業科目の履修により、**所定の単位（30単位以上）**を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、**修士論文の審査及び最終試験に合格**することが必要です。

科目区分	科目群等	条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目	学術院共通専門基盤科目	教育学理論研究（注1） 次世代教育開発研究（注1） Theory of International Education	3
専門基礎科目	教育学関連科目	選択必修（注2）	18
専門科目	教育学関連科目	選択必修（注2）	9
修了単位数			30

学生生活・学習環境

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/library.html>



個人の研究スペースがある**学習室**



300万点以上の資料を擁する**附属図書館**



世界中からやってきた**留学生との交流**

学生生活・学習環境

ソフトボール大会



新入生歓迎会



研究仲間をつくることのできる
豊富なイベントと行事



充実した研究環境

充実した研究指導の体制

- ▶ 教育学学位プログラムには、**人間系教育学域・心理学域をはじめ、人文社会系、数理物質系、生命環境系、体育系、芸術系**に所属する教員も多数関わっており、各分野の最先端の研究・実践動向を踏まえた指導を行っています。
- ▶ 学校教育領域 = 14名
- ▶ 国語教育領域 = 12名
- ▶ 社会科教育領域 = 11名
- ▶ 数学教育領域 = 11名
- ▶ 理科教育領域 = 25名！
- ▶ 多くの**協力教員や非常勤講師**等も指導に関わっています。



子どもの貧困対策としての学習支援と居場所づくりに関する研究

国語科における話し合い指導のための視覚ツールを活用したジグソー法の開発

算数・数学科授業における学習者の思考の促進に関する研究

学社連携の探究授業設計におけるコーディネーターの役割

理科教育におけるマンガ教材に関する研究

アダプテッド・スポーツの学習が高校生のスポーツの価値認識に及ぼす影響

研究テーマの例

幅広い領域をカバーする先生方の指導を受けながら、自らの追究したいテーマをきわめることができます。

資格取得の道

多様な資格取得の道

- ▶ 学校等の教育現場を中心に活用できる資格を取得できる！
- ▶ **小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（全教科）、高等学校教諭専修免許状（全教科）、養護教諭専修免許状、栄養教諭専修免許状、学校心理士**
- ▶ 資格取得のためには、既定の単位修得や試験合格等の条件が課されている場合があります。
- ▶ 教員免許（専修免許）の取得については、
「教育職員免許状の取得について（2020年度入学増員）」
をご参照ください。

http://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses/pdf/kaisetsu_tsukuba/2020/02.pdf



専修免許状の取得

- ▶ 一種免許状を有している場合には、「大学が独自に設定する科目」から**24単位以上**とればよい
- ▶ 教育の基礎的理解に関する科目、教科に関する科目など、**学校をめぐる現代的課題などについて幅広く学べる**科目を多数用意。
- ▶ 多くの学位プログラムの科目が**専修免許状対応科目**になっています！
- ▶ **つまり修了とともに専修免許状＋学位を得られる。**

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 取得単位数
地 理 史	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAE01	社会科教育学特講	2	24 単 位 以 上
		0ATAE02	社会科教育学内容論(地理歴史)	3	
		0ATAE04	社会科教育学実践論(地理歴史)	3	
		0ATAE06	地理教育特講Ⅰ	1	
		0ATAE07	地理教育特講Ⅱ	1	
		0ATAE08	地理教育特講Ⅲ	1	
		0ATAE09	地理教育演習Ⅰ	1	
		0ATAE10	地理教育演習Ⅱ	1	
		0ATAE11	地理教育演習Ⅲ	1	
		0ATAE12	歴史教育特講Ⅰ	1	
		0ATAE13	歴史教育特講Ⅱ	1	
		0ATAE14	歴史教育特講Ⅲ	1	
		0ATAE15	歴史教育演習Ⅰ	1	
		0ATAE16	歴史教育演習Ⅱ	1	
		0ATAE17	歴史教育演習Ⅲ	1	
		0ATAE18	歴史教育学特講	2	
		0ATAE25	人文地理学特講Ⅰ	1	
		0ATAE26	人文地理学特講Ⅱ	1	
		0ATAE27	人文地理学演習Ⅰ	1	
		0ATAE28	人文地理学演習Ⅱ	1	
		0ATAE29	自然地理学特講Ⅰ	1	
		0ATAE30	自然地理学特講Ⅱ	1	
		0ATAE31	自然地理学演習Ⅰ	1	
		0ATAE32	自然地理学演習Ⅱ	1	
		0ATAE33	地理学野外実験	3	
		0ATAE34	日本史特講Ⅰ	1	
		0ATAE35	日本史特講Ⅱ	1	
		0ATAE36	日本史演習Ⅰ	1	
		0ATAE37	日本史演習Ⅱ	1	
		0ATAE38	民俗学実習	3	
		0ATAE39	考古学特講Ⅰ	1	
		0ATAE40	考古学特講Ⅱ	1	
		0ATAE41	考古学演習Ⅰ	1	
		0ATAE42	考古学演習Ⅱ	1	
		0ATAE43	考古学実習	3	
		0ATAR01	地理教育学研究Ⅰ	3	
0ATAR02	地理教育学研究Ⅱ	3			
0ATAR03	地理教育学研究Ⅲ	3			
0ATAR04	歴史教育学研究Ⅰ	3			
0ATAR05	歴史教育学研究Ⅱ	3			
0ATAR06	歴史教育学研究Ⅲ	3			
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区 分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 取得単位数
公 <					



働きながら学ぶことを支える制度

働きながら学ぶことを支える制度

- ▶ 教育学学位プログラムでは、**職業・育児・介護等に従事しながら学習することを希望する人々**に対して「**長期履修制度**」を導入しています。**学費は3年間あるいは4年間で2年分**を払います。
- ▶ 長期履修制度を希望する者は、学位プログラムのリーダーや指導教員等と必ず**事前に相談の上、申請様式を記入し、締切日までに提出**します。
- ▶ 個別審査の上、計画的な履修を認めます。
- ▶ 長期履修制度の概要や必要な書類は以下を確認してください。

<http://www.chs.tsukuba.ac.jp/chs2/wp-content/uploads/869ad6f52e3a95843aae9fa0340afc81.pdf>



全体会



学位プログラムリーダー挨拶（井田先生）



学生代表挨拶（吉川佳佑さん）



学位プログラム紹介（各サブプログラムリーダー）



入試概要説明



質疑応答

入試日程・募集人員

サブプログラム	出願期間	学力検査
次世代学校教育創成 サブプログラム	12/1（火）～12/18（金）	2021／2／3（水）

一般入試	46名
社会人特別選抜	若干名
現職教員1年制プログラム	若干名

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

社会人特別選抜

- ▶ 令和3年(2021年)3月までに常勤・非常勤を問わず2年以上の社会的経験（企業・官公庁・教育関係機関等での就業、家事従事等の経験を含む。）を有する、又は有する見込みであることが必要です。

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

現職教員1年制プログラム

- ▶ 大学院修学休業制度あるいは教育委員会派遣等による研修制度を活用して、1年間で修士ならびに専修免許状を取得することができるプログラムです。
- ▶ 出願資格：次の（a）から（d）のすべてに該当すること
 - （a）出願時において、学校教育法第1条に規定する学校の教員として勤務している者
 - （b）令和3年（2021年）3月末日までに通算3年以上の勤務経験を有する者
 - （c）1年間で修士論文を作成できる教育実践あるいは研究論文等の実績がすでに十分ある者
 - （d）志望する指導教員と研究計画等について事前に十分に相談していること

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

試験科目等（次世代学校教育創成サブプログラム）

2月期【一般入学試験】

2月期		2月3日（水）	
科目（配点）		専門科目（200点）	口述試験（200点）
学位プログラム	時間	10：00～12：00	13：30～
教育学学位プログラム 次世代学校教育創成 サブプログラム		論述 各領域・分野の専門に関する問題 （英語で書かれた文献による出題を含む） （注1 参照）	研究計画、志望動機、専門に関する知識、教育一般に関する知識等について、個別に行う。

（注）

1.辞書の使用は認められません。

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

試験科目等（次世代学校教育創成サブプログラム）

2月期【社会人特別選抜】

2月期		2月3日（水）	
科目（配点）		小論文（100点）	口述試験（200点）
学位プログラム	時間	10：00～12:00	13：30～
教育学学位プログラム 次世代学校教育創成 サブプログラム		専門分野を中心にした 課題について行う。	研究計画、志望動機、専門に関する知識、教育一般に関する知識等について、個別に行う。

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

試験科目等（次世代学校教育創成サブプログラム）

2月期【現職教員1年制プログラム】

2月期		2月3日（水）	
科目（配点）		小論文（100点）	口述試験（200点）
学位プログラム	時間	10：00～12:00	13：30～
教育学学位プログラム 次世代学校教育創成 サブプログラム		専門分野を中心にした課題について行う。	研究計画、志望動機、専門に関する知識、教育一般に関する知識等について、個別に行う。

（注）

1.指導教員と事前に連絡を取ってください。

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

過去の入試問題の公開について

- ▶ 過去3年分の入試問題を学位プログラムウェブサイトに掲載しています。

(<http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/edu-mp/入学案内/過去の入試問題/次世代学校教育創成サブプログラム> (前組織：教/))

- ▶ 前組織の教育研究科の過去問題をダウンロードできます。

その他

◎ 教員とのコンタクト

出願前に指導を志望する教員に連絡を取ることが求められている現職教員1年制プログラムを希望する方は、必ず、事前に連絡を取ってください。

◎ 研究室訪問

研究室訪問については、大学のコロナウィルス対応の方針を踏まえ、各教員の指示に従ってください。

ご注意ください

◎ web上で公開している募集要項をよく読んで、日程や出願書類にミスのないようにしてください。

<募集要項サイト>

筑波大学大学院 人間総合科学学術院
博士前期課程（人間系）

https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/chs/hum_first/

全体会



学位プログラムリーダー挨拶（井田先生）



学生代表挨拶（吉川佳佑さん）



学位プログラム紹介（各サブプログラムリーダー）



入試概要説明



質疑応答

質疑応答

※全体に関わる質問がある方は、
カメラをオンにして
ご発言をお願いいたします。



おわりに...

▶パンフレットの請求について

パンフレットは、学位プログラムのウェブサイトにて公開しています。

(<http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/edu-mp/%e8%b3%87%e6%96%99%e8%ab%8b%e6%b1%82/>)

また、教育学域事務室、及び国際教育サブプログラム事務室・次世代学校教育創成サブプログラム事務室（旧教育研究科事務室）にて配布しています。

郵送による送付をご希望の方は、封筒に「資料請求申込書在中」と明記の上、以下の二点をお送りください。

1. 資料請求申込書（学位プログラムウェブサイトよりダウンロードできます）

または郵便番号、住所、氏名、電話番号と請求する資料の部数を記載したメモ

2. 返信用の角形2号封筒（宛先明記の上、215円切手を貼付）

宛先➡

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学学位プログラム広報担当（人間系・教育学域内）

▶アンケートにご協力お願いいたします。